

ソラメンテ Link シリーズ

CiS アダプター

SC-200

取扱説明書

2020 年 12 月 16 日

A5 版

- 本書は、いつでもご覧いただけるよう、お手元に保管してください。

株式会社アイテス

お問い合わせ先

- 製品に関する一般的なお問い合わせ先

販売店までお問い合わせください。

- 製品に関する技術的なお問い合わせ先

株式会社アイテス 製品開発部

520-3031 滋賀県栗東市絙 1 丁目 17-8-501

電話番号 077-599-5040 / FAX 番号 077-554-6173

電子メール sales02@ites.co.jp

受付時間 平日 9:00 ~ 17:00 土・日・祝日・年末年始の休業日を除く

- ソラメンテホームページ

<https://www.solamente.biz/>

最新の製品情報や、製品を活用するために役立つ情報が
ご覧いただけます。

目次

1.	はじめに	5
1.1.	本製品をお持ちになる方・お使いになる方へのお願い	5
2.	安全上のご注意	6
2.1.	本製品に関するご注意	6
2.2.	太陽光発電設備での点検作業に関するご注意	7
3.	推奨保護具	9
4.	同梱品を確認する	10
5.	製品の概要	11
5.1.	CIS 太陽光パネルを用いた太陽光発電設備の構成	11
5.2.	CiS アダプターとは	12
5.3.	特長・機能	12
6.	各部の名称・機能	13
7.	使用前の準備	14
7.1.	SI-200 の本体ユニットを取り付ける	15
7.2.	SI-200 の標準センサーユニットを取り付ける	16
7.3.	SI-200 の延長棒を取り付ける	17
8.	基本操作	18
8.1.	CIS 太陽光パネル上の電流の動き	19
8.2.	ゼロ点調整をする	20
8.3.	CIS 太陽光パネルに流れる電流の向きを調べる	22
9.	使用前の点検	25
9.1.	本製品と SI-200 の外観を確認する	25
9.2.	本製品と SI-200 の故障を確認する	25
10.	太陽光発電設備のストリング、CIS 太陽光パネルを点検する	26
11.	こんなときは？	30
12.	製品仕様	32

1. はじめに

CiS アダプター SC-200 をご選定いただき、誠にありがとうございます。

本製品を安全に正しくご使用いただくために、この取扱説明書をよくお読みいただき、指定された点検作業を行なってください。

取扱説明書および保証書はお手元に保管し、いつでもご覧いただけるようにしておいてください。

1.1. 本製品をお持ちになる方・お使いになる方へのお願い

- この取扱説明書をよくお読みいただき、危険・警告事項は、特によく内容を理解してください。
- 労働安全衛生法で規定された「低圧電気取扱業務特別教育」を必ず受講してください。
- 電氣的知識（電気工事士、電気主任技術者、電気工事施行管理技師、あるいは工業高等学校・工業高等専門学校の電気系の学科卒業程度の電気の基礎知識）を有し、太陽光発電設備の構造および構成をよく理解し、十分な経験のある方が責任を持って、点検作業を行なってください。

2. 安全上のご注意

本製品を安全に正しくご使用いただくため、また、お使いになる方や他の人々への危害や損害を未然に防止するために、この取扱説明書には、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



危険

この表示の注意事項を守らないと、人が死亡や重傷を負う可能性が高いと想定されます。



警告

この表示の注意事項を守らないと、人が死亡や重傷を負う可能性が想定されます。



注意

この表示の注意事項を守らないと、人が傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定されます。

2.1. 本製品に関するご注意



危険

この表示の注意事項を守らないと、人が死亡や重傷を負う可能性が高いと想定されます。

- 本製品や SI-200、人体がぬれている状態で使用しないでください。
感電の原因になります。
- カバーガラスが割れている CIS 太陽光パネルを点検しないでください。
感電の原因になります。
- CIS 太陽光パネルのカバーガラスに SI-200 のセンサーヘッドを強くぶつけないでください。CIS 太陽光パネルのカバーガラスが割れて電極部が露出すると、
感電の原因になります。
- 本製品を SI-200 に取り付けた状態で、振り回さないでください。太陽光発電設備の高圧部や人体にあたると、感電や故障、ケガの原因になります。



警告

この表示の注意事項を守らないと、人が死亡や重傷を負う可能性が想定されます。

- 本製品や SI-200 を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
故障の原因になります。
- 本製品や SI-200 に水をかけたり、雨でぬらしたりしないでください。
故障の原因になります。



注意

この表示の注意事項を守らないと、人が傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定されます。

- 本製品や SI-200 を分解しないでください。故障の原因になることがあります。
- 本製品や SI-200 からこげ臭いニオイがするときには、使用を中止してください。
火災の原因になることがあります。すみやかに SI-200 の電源を切って、乾電池を外してください。

2.2. 太陽光発電設備での点検作業に関するご注意



危険

この表示の注意事項を守らないと、人が死亡や重傷を負う可能性が高いと想定されます。

- 「高電圧注意」や「立ち入り禁止」の表示がある場所に近寄らないでください。
太陽光発電設備には高電圧の充電部があり、誤って触れると感電の原因になります。太陽光発電設備の点検作業を行うときには、取り扱う電圧の区分に適した絶縁性の高い保護具を必ず着用してください。
- 漏電や地絡などの電気保安上の安全が確認された上で、点検作業を始めてください。感電の原因になります。
- 遮断器や断路器、または開閉器を操作するときに、ストリングの出力端子など

接続箱内の充電部に体が直接触れないようにしてください。感電の原因になります。接続箱内の充電部に触れる可能性があるときには、取り扱う電圧の区分に適した絶縁性の高い保護具を必ず着用してください。

- スtringの開放・復元(連系)をするときには、接続箱やパワーコンディショナが指定する手順を守って、操作してください。手順を誤ると、アークが発生し、感電や火災の原因になります。
- Stringに大電流が流れている状態で、断路器を切らないでください。断路器には消弧能力がありません。断路器を切ると、アークが発生し、感電や火災の原因になります。断路器を切る前には、遮断器または開閉器を切ってください。
- 太陽光パネルが発電中に PV ケーブルを抜かないでください。アークが発生し、感電や火災の原因になります。
- 雨天などの悪天候のときや太陽光発電設備が雨でぬれているときには、点検作業を始めないでください。本製品や SI-200、人体が雨水にぬれることにより、感電の原因になります。
- 雷鳴が聞こえたら、点検作業を中断してください。落雷により、感電の原因になります。

3. 推奨保護具

太陽光発電設備の点検作業を行うときには、取り扱う電圧の区分に適した保護具を必ず着用してください。

名称	種類	推奨例(写真)
ヘルメット	電気作業用	
絶縁ゴム手袋	電気作業用 取り扱う電圧の区分に適した製品を使用してください。	
安全靴	滑り止め効果のある製品を使用してください。	

4. 同梱品を確認する

同梱品がすべて揃っていることをご確認ください。同梱品が足りないときや破損しているときには、販売店までお問い合わせください。

- ☐ CiS アダプター(本体) … 1 個



- ☐ 取扱説明書(本書) … 1 部

- ☐ 保証書 … 1 枚

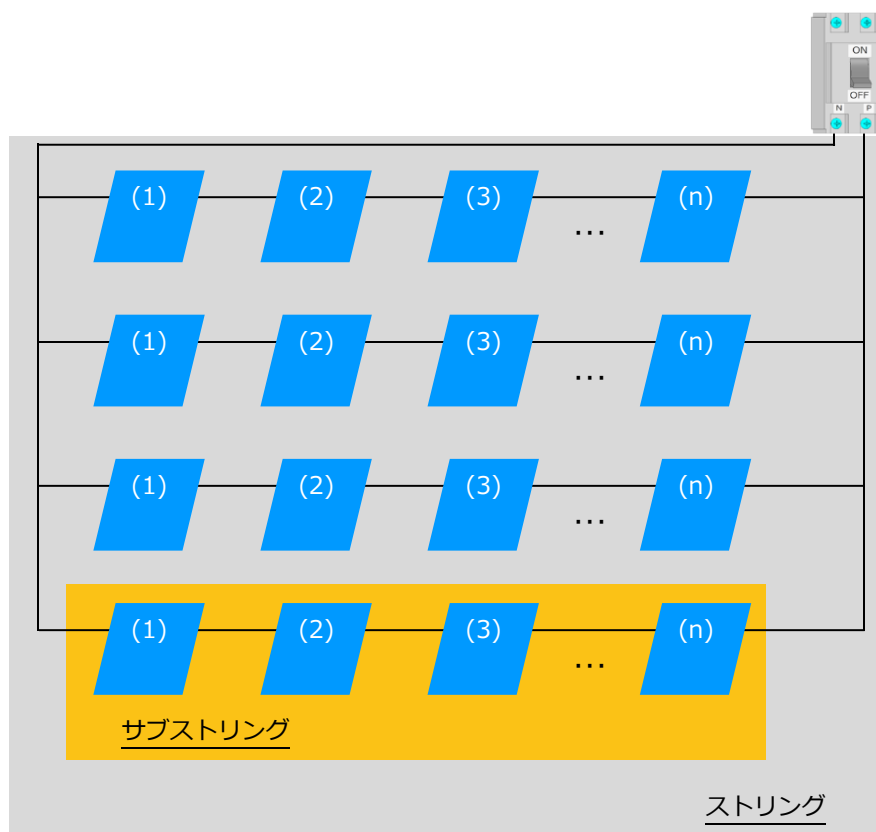
5. 製品の概要

5.1. CIS 太陽光パネルを用いた太陽光発電設備の構成

CIS 太陽光パネルを用いた太陽光発電設備は、直列接続と並列接続が組み合わされた構成になっています。

本書では、CIS 太陽光パネルを直列接続している部分を「サブストリング」と呼びます。

複数個のサブストリングを並列接続することで、1つのストリングを構成しています。



5.2. CiS アダプターとは

CiS 太陽光パネルを用いた太陽光発電設備は、直列接続と並列接続が組み合わされた構成になっています。そのため、従来のシリコン結晶型太陽光パネルを用いた太陽光発電設備で行われている点検方法では、電気的な測定と判定がむずかしく、PV ケーブルを抜くなど手間と時間がかかりました。

ソラメンテ-iS SI-200(以降「SI-200」)の本体ユニットと標準センサーユニットの間に本製品を取り付けることで、SI-200 で CiS 太陽光パネルに流れる電流の「大きさ」と「向き」を検出できるようになります。

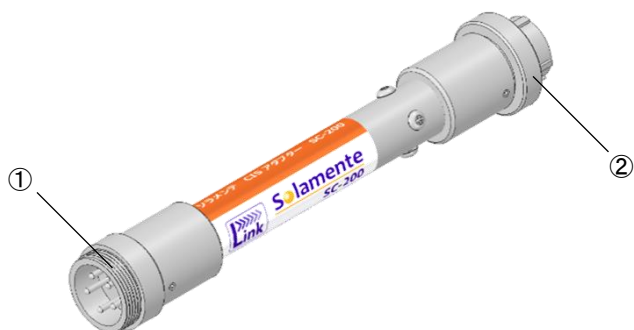
この機能を使うことで、CiS 太陽光パネルを用いた太陽光発電設備で、PV ケーブルを抜かずに、被雷(直撃雷や誘導雷)によってバイパス回路の短絡故障が起こっている CiS 太陽光パネルを特定できます。

5.3. 特長・機能

- CiS 太陽光パネルを用いた太陽光発電設備で有効です。
- 被雷(直撃雷や誘導雷)によってバイパス回路の短絡故障が起こっている CiS 太陽光パネルを特定できます。
- CiS 太陽光パネルの表面(カバーガラス面側)の集電極の上に SI-200 のセンサーヘッドの磁気検出部を密着させることで、集電極に流れる電流の「大きさ」と「向き」を検出できます。検出した電流の「向き」で、電子音のメロディとレベルメーターの変化する方向を変えて通知します。
- 日射の強弱を検出し、磁気検出部の感度を自動的に調節するので、感度の調節は不要です。
- 本製品の機能を使った点検方法は、太陽光発電設備の PV ケーブルを抜く必要がありません。

6. 各部の名称・機能

【CiS アダプター(本体)】



番号	名称・機能
①	CiS アダプター・オスコネクタ
②	CiS アダプター・メスコネクタ

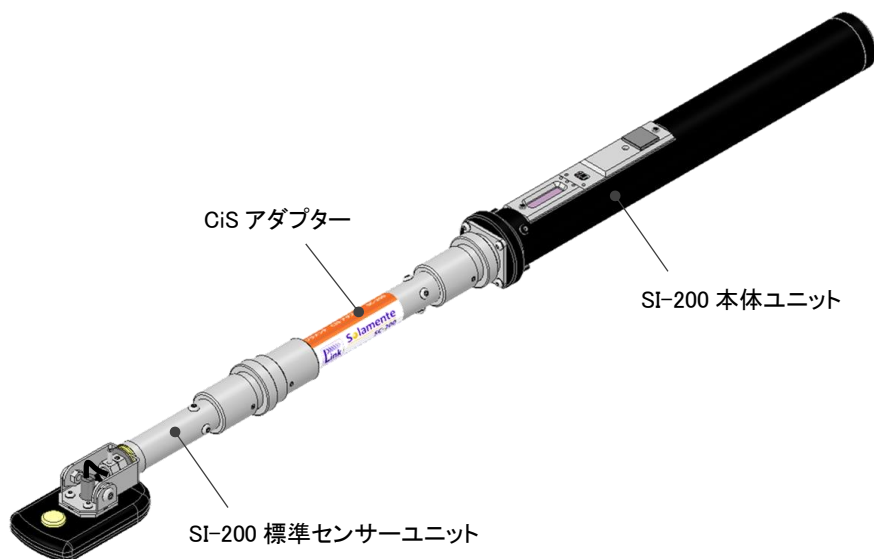
7. 使用前の準備

本製品を使った点検を行なうためには、

SI-200 の本体ユニットと標準センサーユニットの間に本製品を取り付けます。

SI-200 の基本的な使い方につきましては、

SI-200 の取扱説明書を併せて参照してください。



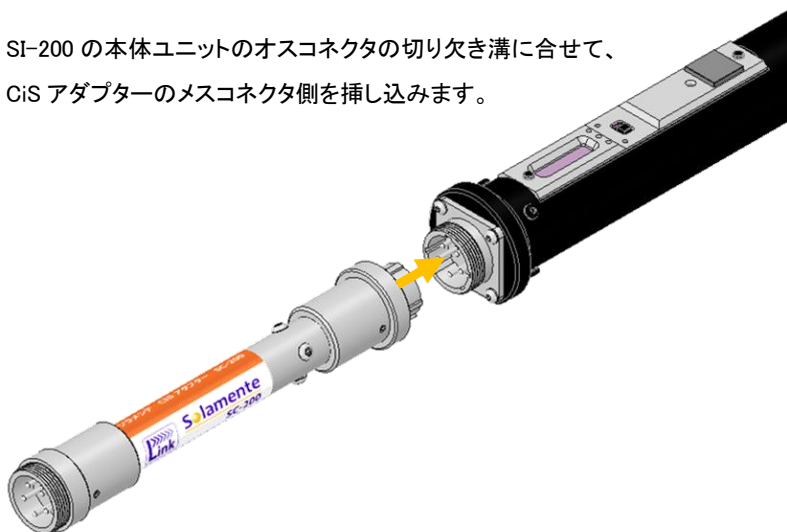
7.1. SI-200 の本体ユニットを取り付ける



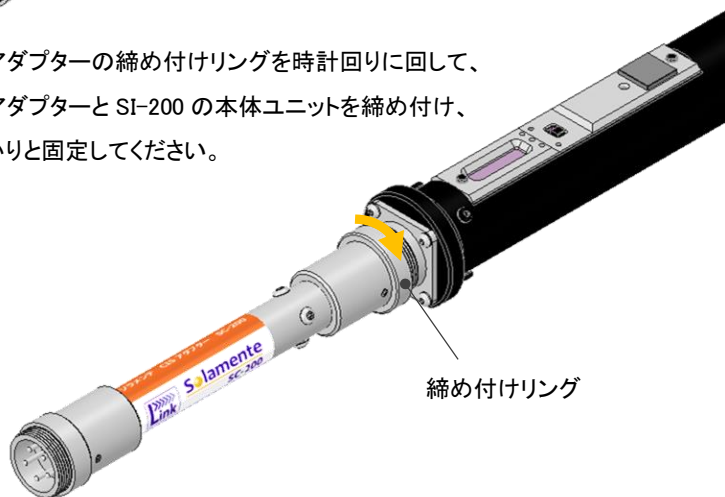
注意

- 本製品の締め付けリングで SI-200 の本体ユニットを締め付け、しっかりと固定してください。締め付けがゆるいと、破損の原因になることがあります。
- 本製品と SI-200 の本体ユニットを斜めに締め付けないでください。破損の原因になることがあります。

1. SI-200 の本体ユニットのオスコネクタの切り欠き溝に合せて、CiS アダプターのメスコネクタ側を挿し込みます。



2. CiS アダプターの締め付けリングを時計回りに回して、CiS アダプターと SI-200 の本体ユニットを締め付け、しっかりと固定してください。

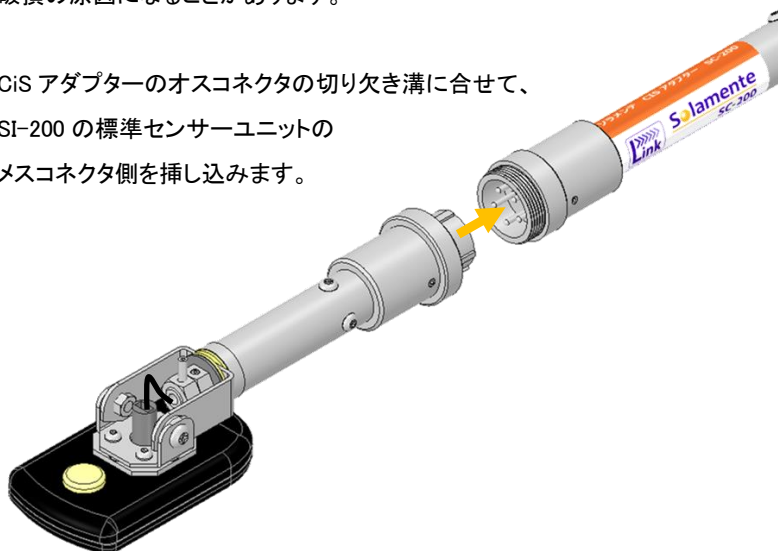


7.2. SI-200 の標準センサーユニットを取り付ける

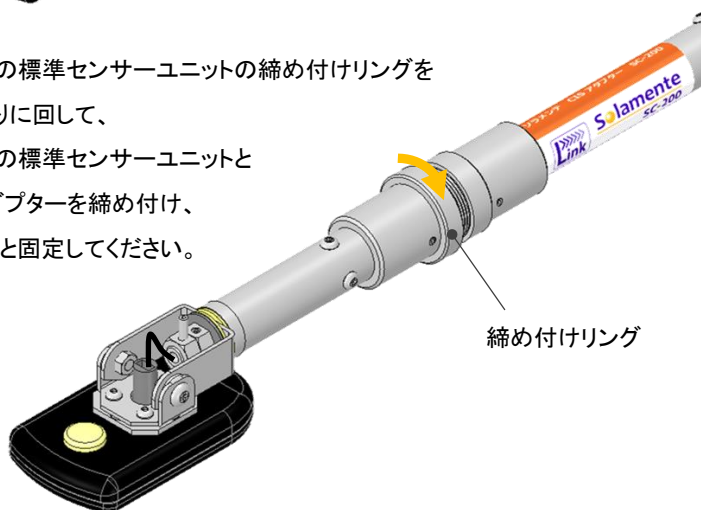
注意

- SI-200 の標準センサーユニットの締め付けリングで本製品を締め付け、しっかりと固定してください。締め付けがゆるいと、破損の原因になることがあります。
- SI-200 の標準センサーユニットと本製品を斜めに締め付けしないでください。破損の原因になることがあります。

1. CiS アダプターのオスコネクタの切り欠き溝に合せて、SI-200 の標準センサーユニットのメスコネクタ側を挿し込みます。



2. SI-200 の標準センサーユニットの締め付けリングを時計回りに回して、SI-200 の標準センサーユニットと CiS アダプターを締め付け、しっかりと固定してください。



7.3. SI-200 の延長棒を取り付ける

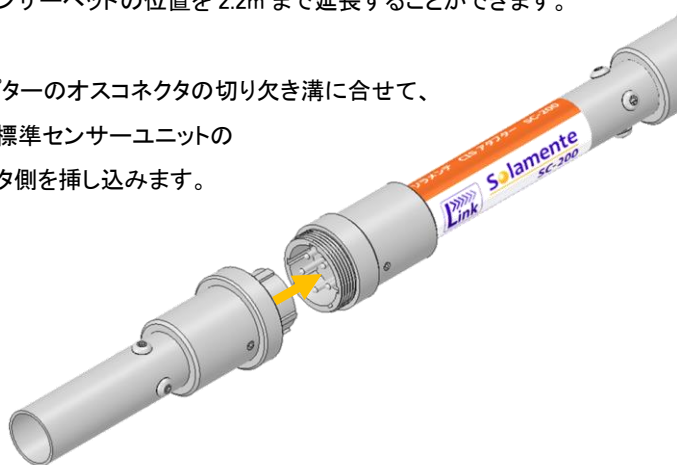


注意

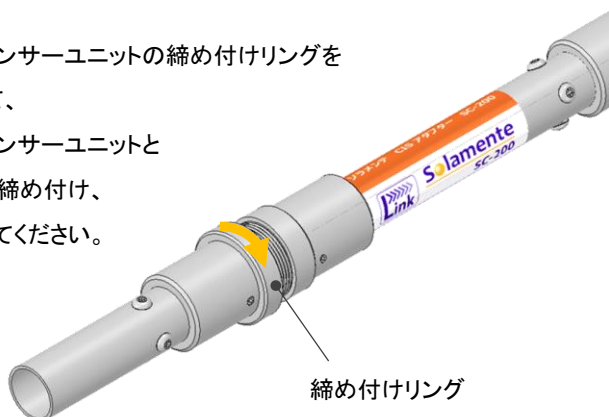
- SI-200 の延長棒の締め付けリングで本製品を締め付け、しっかりと固定してください。締め付けがゆるいと、破損の原因になることがあります。
- SI-200 の延長棒と本製品を斜めに締め付けしないでください。破損の原因になることがあります。

CiS アダプターと SI-200 の標準センサーユニットの間に SI-200 の延長棒を取り付けると、SI-200 のセンサーヘッドの位置を 2.2m まで延長することができます。

1. CiS アダプターのオスコネクタの切り欠き溝に合せて、SI-200 の標準センサーユニットのメスコネクタ側を挿し込みます。



2. SI-200 の標準センサーユニットの締め付けリングを時計回りに回して、SI-200 の標準センサーユニットと CiS アダプターを締め付け、しっかりと固定してください。



8. 基本操作



危険

- 太陽光発電設備には高電圧の充電部があり、誤って触れると感電の原因になります。太陽光発電設備の点検作業を行うときには、取り扱う電圧の区分に適した絶縁性の高い保護具を必ず着用してください。
- スtringの開放・復元(連系)をするときには、接続箱やパワーコンディショナが指定する手順を守って、操作してください。手順を誤ると、アークが発生し、感電や火災の原因になります。
- Stringに大電流が流れている状態で、断路器を切らないでください。断路器には消弧能力がありません。断路器を切ると、アークが発生し、感電や火災の原因になります。断路器を切る前には、遮断器または開閉器を切ってください。



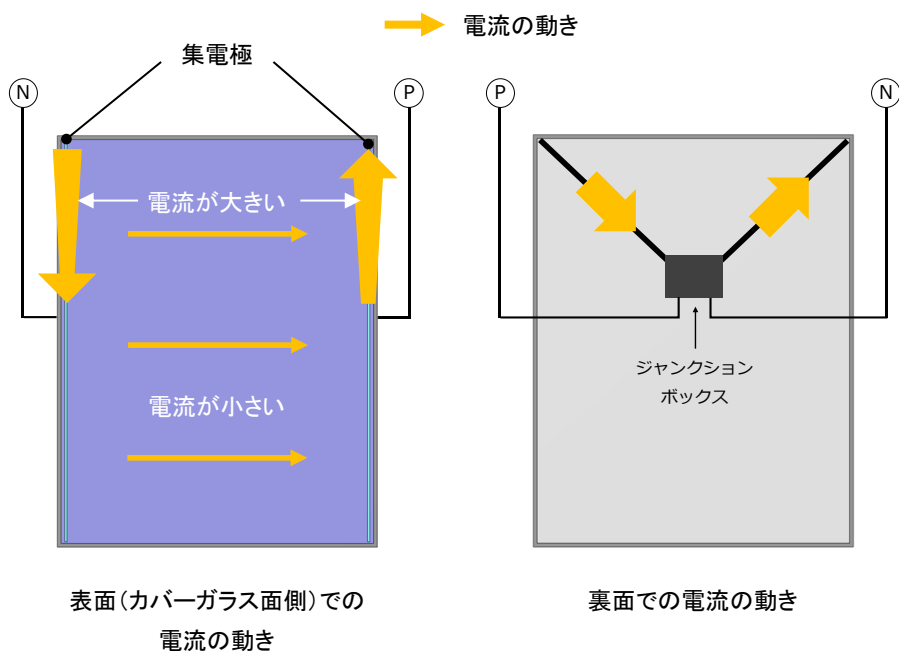
注意

- 照度測定窓に影を落とした状態で、ゼロ点調整をしないでください。発電電流を正しく検出できなくなります。照度測定窓で日射の強弱を検出し、磁気検出部の感度を自動的に調整するため、天候に左右されることなく発電電流を検出できるようになっています。
- CIS 太陽光パネルに大きな影を落とさないでください。CIS 太陽光パネルの発電を妨げるため、発電電流が検出できなくなります。
- 鉄製の架台は磁気を帯びている可能性があります。発電電流を調べるときには、裏側に架台の梁や柱がない CIS 太陽光パネルの場所で点検してください。
- SI-200 のセンサーヘッドの磁気検出部を空中に浮かせた状態で、ゼロ点調整をしないでください。発電電流を正しく検出できなくなります。

8.1. CIS 太陽光パネル上の電流の動き

CIS 太陽光パネル上には、流れる電流が「大きい」ところと「小さい」ところがあります。本製品を使った点検では、CIS 太陽光パネルの表面(カバーガラス面側)の流れる電流が「小さい」ところで、センサーのゼロ点調整を行いません。

ゼロ点調整が完了したら、CIS 太陽光パネルの表面(カバーガラス面側)の流れる電流が「大きい」ところで、電流の向きを調べます。



8.2. ゼロ点調整をする



注意

- 照度測定窓に影を落とした状態で、ゼロ点調整をしないでください。発電電流を正しく検出できなくなります。照度測定窓で日射の強弱を検出し、磁気検出部の感度を自動的に調整するため、天候に左右されることなく発電電流を検出できるようになっています。
- CIS 太陽光パネルに大きな影を落とさないでください。CIS 太陽光パネルの発電を妨げるため、発電電流が検出できなくなります。
- 鉄製の架台は磁気を帯びている可能性があります。発電電流を調べるときには、裏側に架台の梁や柱がない CIS 太陽光パネルの場所で点検してください。
- SI-200 のセンサーヘッドの磁気検出部を空中に浮かせた状態で、ゼロ点調整をしないでください。発電電流を正しく検出できなくなります。

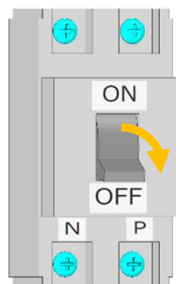
センサーの磁気検出値のゼロ点を調整します。加えて、ゼロ点調整のときに、照度測定窓で日射の強弱を検出し、センサーの感度を自動的に調整します。そのため、天候に左右されることなく発電電流を検出できるようになっています。

CIS 太陽光パネルの短絡故障を調べる前やスライドスイッチを切り替えた後、別のアレイに移動したときには、次の手順で必ずゼロ点調整をしてください。

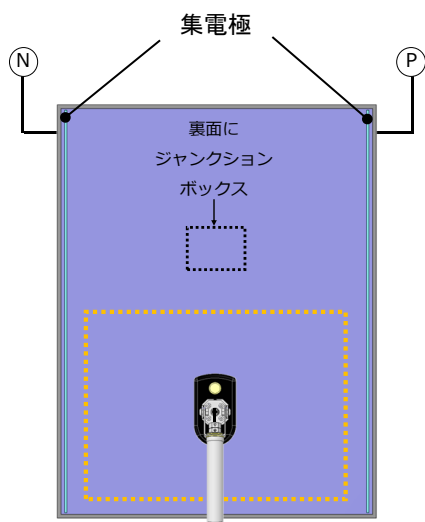
1. 接続箱で該当するストリングの断路器を切り、パワーコンディショナとストリングを切り離し、ストリングを開放状態にし、電流が流れない状態にします。

ストリングを切り離す操作が、太陽光発電設備ごとに異なります。接続箱やパワーコンディショナの操作説明書に基づいて、適切な方法で行ってください。

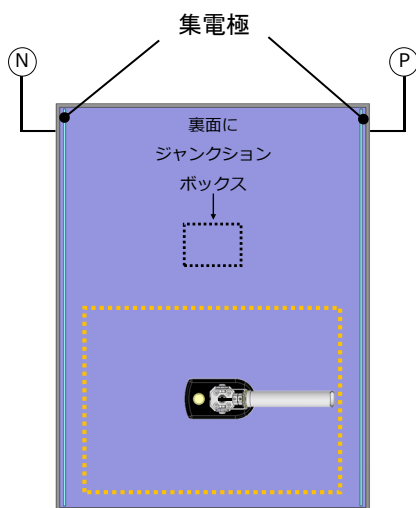
2. SI-200 の電源が入っていないければ、電源を入れます。



3. CIS 太陽光パネルの表面(カバーガラス面側)を長手方向で二等分した区画の「裏面にジャンクションボックスがない側」の中央で、集電極に対して平行または垂直になるように、SI-200 のセンサーヘッドの磁気検出部を密着させます。



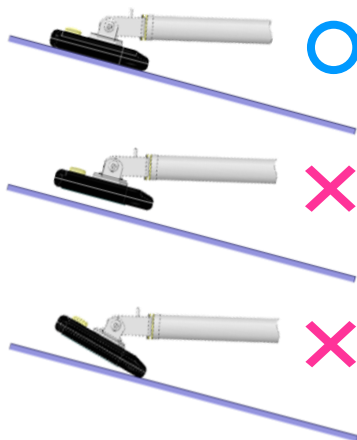
集電極に対して平行にする



集電極に対して垂直にする

4. CIS 太陽光パネルの表面(カバーガラス面側)に密着させた SI-200 のセンサーヘッドを動かさずに電源ボタンを短押しします。

CIS 太陽光パネルの表面(カバーガラス面側)から SI-200 のセンサーヘッドが浮いた状態では、センサーのゼロ点調整が正しく働きません。



5. SI-200 から電子音が「ピッ」と鳴り、SI-200 のレベルメーターに日射の強さが表示されると、ゼロ点調整は完了です。

8.3. CIS 太陽光パネルに流れる電流の向きを調べる

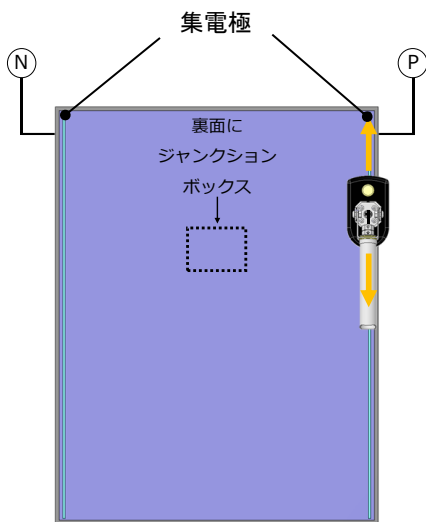


注意

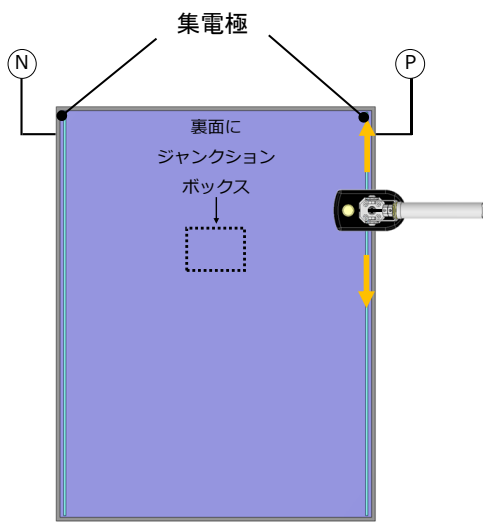
- 接続箱内の断路器とストリングを構成する CIS 太陽光パネルの間に関する配線図を準備し、点検作業を始める前に、実際の配線図のとおりであることを確認してください。そして、ストリング内で CIS 太陽光パネルがつながれている順序と位置を把握しておいてください。バイパス回路の短絡故障が起こっている CIS 太陽光パネルを特定できなくなります。
- CIS 太陽光パネルに流れる電流の向きを調べている途中で、ゼロ点調整をしないでください。発電電流を正しく検出できなくなります。

ゼロ点調整が完了すると、CIS 太陽光パネルに流れる電流の向きを調べることができます。

1. CIS 太陽光パネルの表面(カバーガラス面側)の集電極の上に SI-200 のセンサーヘッドの磁気検出部を密着させます。このときに、SI-200 のセンサーヘッドの向きは、ゼロ点調整をしたときの向きから変えないでください。
2. CIS 太陽光パネルの表面(カバーガラス面側)を長手方向で二等分した区画の「裏面にジャンクションボックスがある側」で、集電極に沿って SI-200 のセンサーヘッドを動かします。



集電極に対して平行に向けて動かす



集電極に対して垂直に向けて動かす

- SI-200 のセンサーヘッドの磁気検出部が集電極と重なったときに、集電極に電流が流れると発生する磁界を検出すると、電流の「大きさ」と「向き」を SI-200 から鳴る電子音と SI-200 のレベルメーターの表示で通知します。このとき、検出した電流の「大きさ」を、電子音の音階とレベルメーターのレベルで通知します。検出した電流の「向き」によって、電子音のメロディとレベルメーターの変化する方向が変わります。

● 「順方向」の電流を検出したとき



緑色 → 黄色 → 赤色の順番にレベルメーターのランプが点灯する。

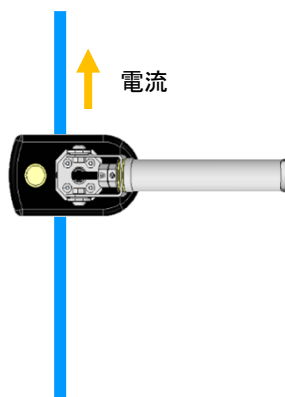
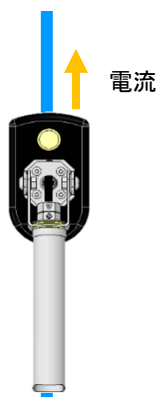
● 「逆方向」の電流を検出したとき



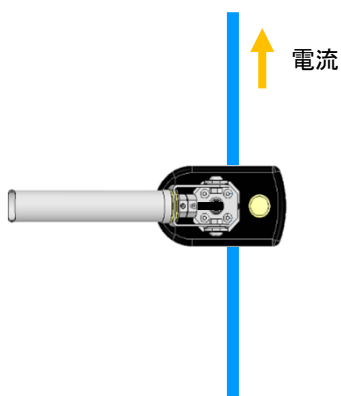
赤色 → 黄色 → 緑色の順番にレベルメーターのランプが点灯する。

検出した電流を「順方向」と「逆方向」のどちらと判定するかについては、
流れる電流に対する SI-200 のセンサーヘッドの向きによって決まっています。

- 「順方向」と判定するとき



- 「逆方向」と判定するとき



9. 使用前の点検

使用前には、本製品と SI-200 に故障がないか、点検をしてから使用してください。
故障を確認した場合は、使用を中止してください。

9.1. 本製品と SI-200 の外観を確認する

- 本製品の的外観に目視で分かる変形や破損がないことを確認してください。
- SI-200 の外観に目視で分かる変形や破損がないことを確認してください。

9.2. 本製品と SI-200 の故障を確認する

次の手順にしたがって、本製品と SI-200 が故障していないことを確認してください。

1. SI-200 の本体ユニットと標準センサーユニットの間に本製品を取り付けて、電源を入れます。
延長棒を取り付ける場合は、本製品と標準センサーユニットの間に延長棒を取り付けます。
2. SI-200 のセンサーヘッドが磁界の影響を受けない状態にして、ゼロ点調整をします。
3. ゼロ点調整が完了した後に、鉄製品や電子機器に SI-200 のセンサーヘッドを近づけます。SI-200 のレベルメーターの表示が反応し、SI-200 から電子音が鳴ることを確認してください。

10. 太陽光発電設備の CIS 太陽光パネルを点検する



危険

- 太陽光発電設備には高電圧の充電部があり、誤って触れると感電の原因になります。太陽光発電設備の点検作業を行うときには、取り扱う電圧の区分に適した絶縁性の高い保護具を必ず着用してください。
- スtringの開放・復元(連系)をするときには、接続箱やパワーコンディショナが指定する手順を守って、操作してください。手順を誤ると、アークが発生し、感電や火災の原因になります。
- Stringに大電流が流れている状態で、断路器を切らないでください。断路器には消弧能力がありません。断路器を切ると、アークが発生し、感電や火災の原因になります。断路器を切る前には、遮断器または開閉器を切ってください。



注意

- 照度測定窓に影を落とした状態で、ゼロ点調整をしないでください。発電電流を正しく検出できなくなります。照度測定窓で日射の強弱を検出し、磁気検出部の感度を自動的に調整するため、天候に左右されることなく発電電流を検出できるようになっています。
- CIS 太陽光パネルに大きな影を落とさないでください。CIS 太陽光パネルの発電を妨げるため、発電電流が検出できなくなります。
- 鉄製の架台は磁気を帯びている可能性があります。発電電流を調べるときには、裏側に架台の梁や柱がない CIS 太陽光パネルの場所で点検してください。
- SI-200 のセンサーヘッドの磁気検出部を空中に浮かせた状態で、ゼロ点調整をしないでください。発電電流を正しく検出できなくなります。

- 接続箱内の断路器とストリングを構成する CIS 太陽光パネルの間に関する配線図を準備し、点検作業を始める前に、実際の配線図のとおりであることを確認してください。そして、ストリング内で CIS 太陽光パネルがつながれている順序と位置を把握しておいてください。バイパス回路の短絡故障が起こっている CIS 太陽光パネルを特定できなくなります。

次の手順にしたがって、太陽光発電設備のストリングを点検してください。

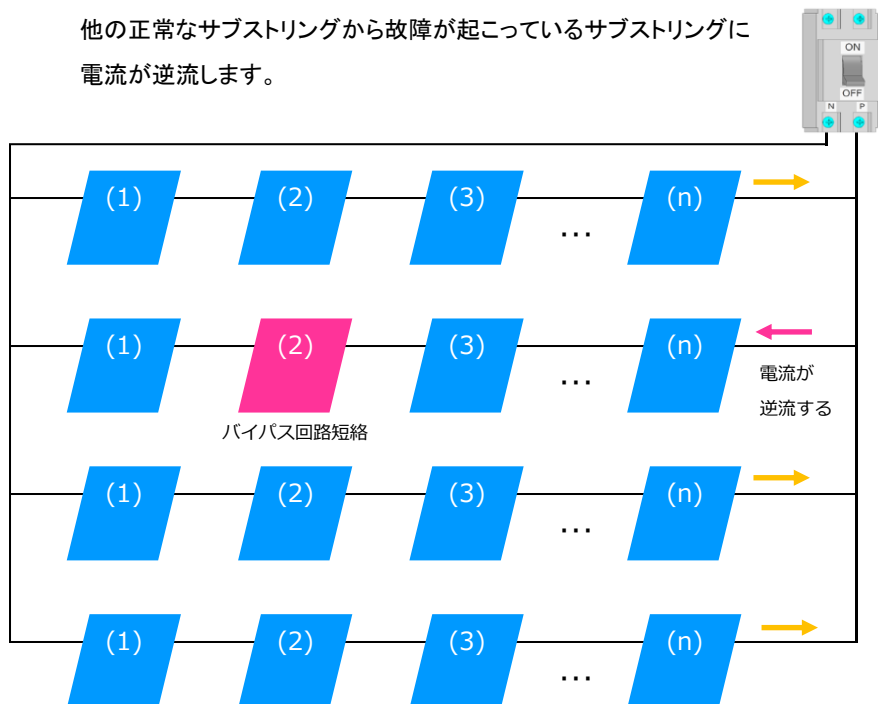
1. 接続箱で該当するストリングの断路器を切り、パワーコンディショナとストリングを切り離し、ストリングを開放状態にし、電流が流れない状態にします。

ストリングを切り離す操作が、太陽光発電設備ごとに異なります。接続箱やパワーコンディショナの操作説明書に基づいて、適切な方法で行ってください。



2. ストリングの開放電圧とインピーダンス(抵抗)をソラメンテ-Z SZ-200 または SZ-1000(共に別売)で測定し、測定結果を確認します。
測定結果を前後のストリングと比較し、開放電圧が大きく低下していたならば、そのストリングにはバイパス回路の短絡故障が起こっている CIS 太陽光パネルがあります。

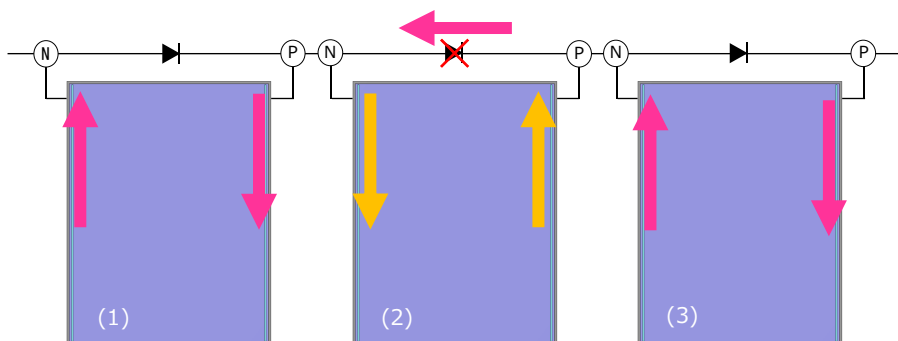
3. スtring内にバイパス回路の短絡故障が起こっている CIS 太陽光パネルがあると、故障が起こっているサブStringに電荷が流れ込み、他の正常なサブStringから故障が起こっているサブStringに電流が逆流します。



次の手順にしたがって、該当するStringを構成しているサブStringの中から、電流が逆流しているサブStringを、本製品を取り付けた SI-200 で特定します。

- ① SI-200 の本体ユニットと標準センサーユニットの間に本製品を取り付けて、電源を入れます。
延長棒を取り付ける場合は、本製品と標準センサーユニットの間に延長棒を取り付けます。
- ② CIS 太陽光パネルの表面(カバーガラス面側)の流れている電流が小さい中央部分で、ゼロ点調整をします。
- ③ CIS 太陽光パネルの表面(カバーガラス面側)の集電極の上に SI-200 のセンサーヘッドの磁気検出部を密着させて、電流の向きを調べていき、電流が逆流しているサブStringを特定します。

4. バイパス回路の短絡故障が起こっている CIS 太陽光パネルは、発電された電流がバイパス回路に流れるため、CIS 太陽光パネル内が閉回路となり、電流がループしてしまいます。
- そのため、電流が逆流しているサブストリングの中から、逆の向き(すなわち正常な向き)に電流が流れている CIS 太陽光パネルを探します。



バイパス回路短絡

危険

- バイパス回路の短絡故障が起こっている CIS 太陽光パネルがあるストリングは、断路器を切り、開放状態にしても、日射の強さに応じて電流が流れます。
電流が流れている状態で PV ケーブルを抜かないでください。アークが発生し、感電や火災の原因になります。
- バイパス回路の短絡故障が起こっている CIS 太陽光パネルがあるストリングで PV ケーブルを抜くときには、クランプメーターで流れている電流を確認し、暗幕などで CIS 太陽光パネルの表面(カバーガラス面側)を遮光して、発電を消費するなどして、安全を確保してください。
5. 該当する CIS 太陽光パネルをすべて特定できたら、断路器を元の状態に戻します。

11. こんなときは？

本製品を使用中に困ったときは、次の項目を確認してください。

それでも解決しないときには、販売店までお問い合わせください。

Q1 SI-200 の電源が入らない。

A 電池が入っているか確認してください。

A 電池が完全に消耗している可能性があります。すべて新しい電池に交換してください。

Q2 SI-200 の電源ボタンを長押ししても、ステータスランプがすぐに消えてしまう。

A SI-200 のスライドスイッチの位置が「左」に切り替わっているか確認してください。スライドスイッチの位置が「右」に切り替わっていると、SI-200 の電源が不用意に入らないようにロックされます。

Q3 SI-200 の電源ボタンの内蔵ランプが赤色に切り替わることがある。

A 電池残量が減っています。電池残量が減ると、SI-200 と本製品の動作が不安定になる可能性があります。

SI-200 の電源ボタンの内蔵ランプが赤色に点灯している時間が長くなったら、電池が消耗しています。すぐに電源を切り、すべて新しい電池に交換してください。

Q4 ゼロ点調整が完了した状態で SI-200 のセンサーヘッドを動かすと、SI-200 から「ピー」という電子音が鳴り続ける。

A CIS 太陽光パネルの裏側に大きな電流が流れるジャンクションボックスや PV ケーブルがある場所で、ゼロ点が調整された可能性があります。大きな電流が流れる場所を避けて、ゼロ点を調整してください。

A CIS 太陽光パネルの裏側に強く磁化された鉄製の架台の梁や柱がある場所でゼロ点調整された可能性があります。CIS 太陽光パネルの側に架台の梁や柱がある場所を避けて、ゼロ点を調整してください。

- Q5 CIS 太陽光パネルの集電極ではない場所で、センサーが強く反応してしまう。
- A CIS 太陽光パネルの裏側に大きな電流が流れるジャンクションボックスや PV ケーブルがある可能性があります。大きな電流が流れる場所を避けて、点検してください。
- A CIS 太陽光パネルの裏側に強く磁化された鉄製の架台の梁や柱がある可能性があります。CIS 太陽光パネルの裏側に架台の梁や柱がある場所を避けて、点検してください。
- Q6 SI-200 のレベルメーターが「黄色のランプが 3 個」と「緑色のランプが 2 個」の点滅を繰り返した後、SI-200 から「きらきら星」のメロディが鳴り出した。
- A 本製品と SI-200 の本体ユニット、
または本製品と SI-200 の標準センサーユニットがつながっていないか、
コネクタ部の接触不良が起こっている可能性があります。
すぐに電源を切り、各コネクタ部の取り付けに問題がないことを確認してください。

12. 製品仕様

本体サイズ	長さ 190 [mm], 直径 32[mm]
本体質量	160 [g]
対象太陽光パネル	CIS 太陽光パネル
電源	ソラメンテ-iS SI-200 から給電
使用環境温度	0～40 [°C]
使用環境湿度	85 [%]以下(結露なきこと)